

第3回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：平成31年4月11日（木）13:30～

場所：勤労者福祉センター5階会議室

<議事（1）：目標達成に向けて検討する施策について>

【資料1-1】目標達成に向けて検討する施策 【資料1-2】ケーススタディ

組織名	質問・意見
西日本旅客鉄道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道とバスの乗り継ぎに関しては、ICカードの利用環境、運行情報のモニター表示、バリアフリーなどの待ち環境について、引き続き、できることは取り組んでいきたい。 ケーススタディで示された妹尾駅や汗入へのアクセスについては、道路や駅前広場が狭いといった課題もあるかと思うので、今後岡山市と勉強していきたい。
岡山電気軌道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 実態に基づいた素晴らしいケーススタディであるが、網形成計画と再編実施計画を並行して進めようと考えているのか。個別の問題もあるが、交通連合など思い切った全体像を考えた方がいいのではないかと。岡山市では、中心部でバス路線が多くなりすぎて、クリームスキミングが行われ、過疎地域のバス路線は政令市で最も貧弱であり、さらに異常な運賃という実態がある。これらの解決には、壮大な考え方にならないといけない。 ⇒再編実施計画を作ることが施策の実現につながると考えており、市域全体を対象に様々な施策を位置つけた網形成計画を策定した後に、引き続き再編実施計画を実現可能な部分から切り出して策定できるように、並行して検討していきたい。（事務局） 乗り継ぎをやるということは素晴らしいことだが、鉄道は定時性が確保されているが、バス同士では接続の問題が出てくるので、現場で克明に考えていかなければならない。 ⇒岡南方面で示した再編では、幹線系統に位置付けた505系統は急行バスであるが、幹線区間内で乗り降りされる方も、岡電バスの労災病院線が15分に1本程度の頻度で並行して運行されているので、十分にサービスが提供されると考えている。実際の運行に関しては、乗り継ぎ拠点を含めて、事業者様から様々な情報やご意見をいただきながら、今後実現に向けて協議をさせていただきたい。（事務局） 交通網の維持について、最大の問題は乗務員の確保である。規制緩和により、他産業と比べて100万円賃金が低くなり、これを改善しなければ人材が確保できない。日本全体として、どうやって働き甲斐のある運輸事業にしていくか、ご配慮していただきたい。

<議事（3）：その他>

【資料2】東区役所へのバス路線延伸について

組織名	質問・意見
岡山市 連合町内会	<ul style="list-style-type: none"> 東区役所へのアクセスについては、長年の課題であり、住民の皆様から要望をいただいていたが、今回の実現によって、大変利便性が向上した。住民としても周知徹底をしていきたい。

【今後の進め方】

- ・ケーススタディで示した方向性で実現に向けた協議を進める
- ・他の路線の再編及び運賃設定の適正化や公共交通利用環境の改善等の他の施策について検討を進める

